



着床式洋上風力の撤去のしやすい技術工法の開発支援

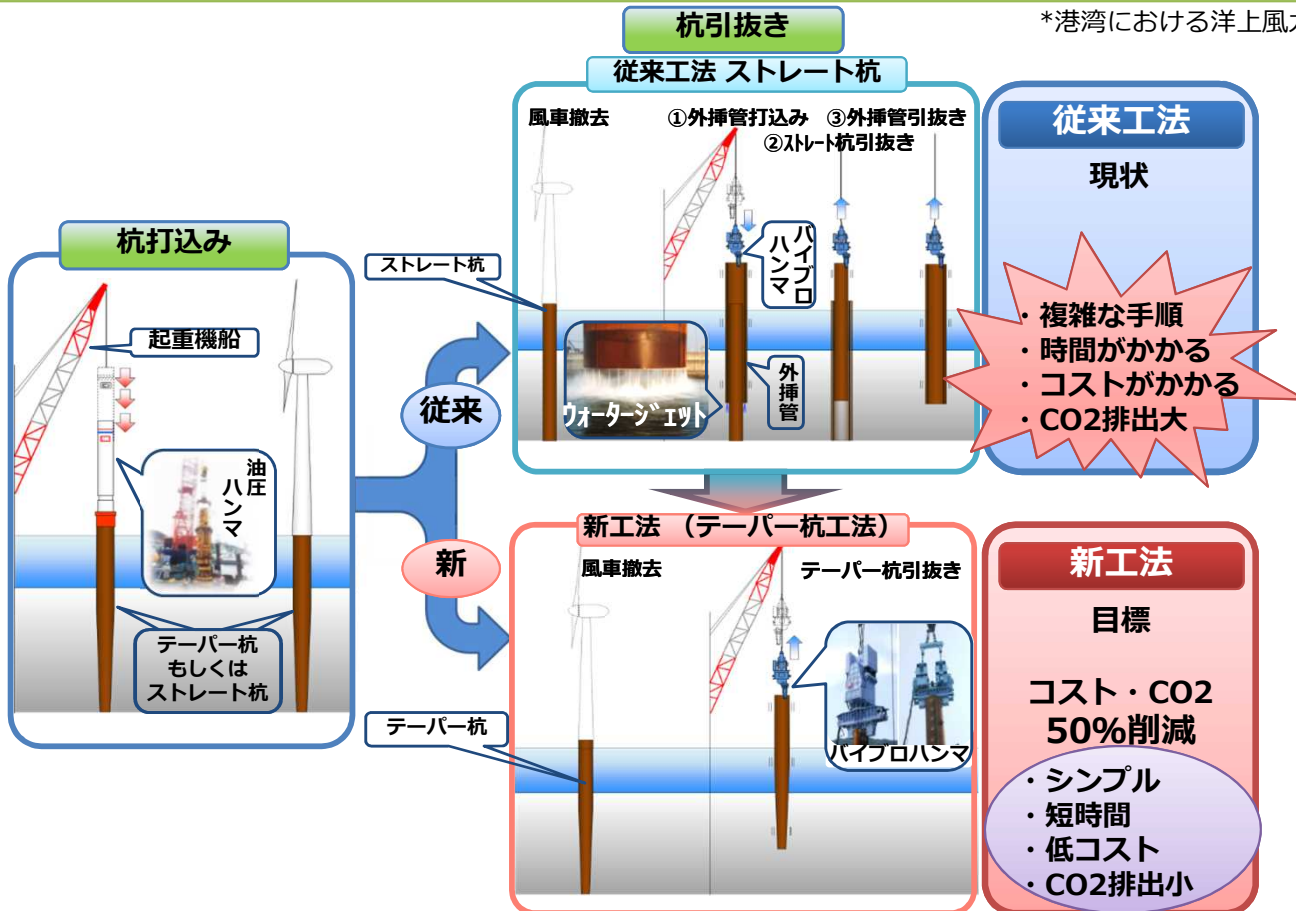
技術

施策番号：74

担当課：地球局事業室技術L (03-5521-8339)

- 洋上風力は、大型化に伴い施工コストが増大しているが、港湾では事業後の撤去を基本としている*ため撤去費を見込むことが重要である。特に、モノパイル式（ストレート杭）の着床式洋上風力では、**杭の設置に対して撤去にかかる費用が非常に大きい**ため、撤去までを想定した大型洋上風力の施工方法確立が必要である。
- テーパー型基礎杭を利用した着床式洋上風力では、撤去（引き抜き）の際に外挿管を必要とせず、**直接引き抜くことが可能かつ低コストで環境負荷が低いと見込む**。

*港湾における洋上風力発電の占用公募制度の運用指針Ver.1（平成28年7月 国土交通省港湾局）



【従来型工法（ストレート杭）】

- ・杭打込み時
 - 油圧ハンマで打設
- ・杭引き抜き時
 - 杭に対して一回り大きめの外挿管を打設し、摩擦を除去することで引き抜く

【新型工法（テーパ杭）】

- ・杭打込み時
 - 油圧ハンマで打設
- ・杭引き抜き時
 - 外挿管を利用せず、そのまま引き抜く

テーパ杭：杭の途中から先端へ向かい徐々に細くなる杭